



第94号



発行 宇治市教育委員会
〒611-8501
京都府宇治市
宇治琵琶33番地
TEL (0774) 21-1879
https://www.city.uji.kyoto.jp/
編集 学校教育課内
「学校教育広報」
編集委員会

「つながりの中で育む宇治市の教育」



宇治市では、「家庭・学校・地域でささえる宇治のひとづくり・まちづくり」という教育理念のもと、上記の各教育施策について、一つ一つのつながりのサークル(円・縁)を大切に、児童・生徒の「学びと育ち」を支えてまいります。

地域の皆様へ
毎日の子どもたちの見守りや励ましで子どもたちの学びを支え、成長を見守っていただき、誠にありがとうございます。地域の中で子どもは大人になっていきます。今後ともコミュニティ・スクールを中心に「学校を核とした地域づくり」にご理解・ご協力をお願いします。

保護者の皆様へ
ご家庭で支えてくださっている皆様、誠にありがとうございます。本年度は学校に是非お越しいただき、お子様の様子を存分にご覧になってください。また、保護者の皆様もお互いにつながりを深めていただき、お子様が周りの大人たちに包み込まれているという感覚を持たせてあげてください。

児童生徒の皆様へ
コロナ禍の様々な制限の中、皆さんは工夫をしながら、学校生活を送ってきました。そして今、新たなスタートを切り、勇気をもっていろいろなことに挑戦している皆さんを心から応援しています。たくさんさんの友達とつながる一年間にしてください。

教育長からのメッセージ
教育長 岸本文子

令和5年度 研究指定校紹介

宇治市の小・中学校では、児童生徒に質の高い学力や豊かな人間性を身に付けさせるための積極的な研究活動等を行っています。

京都府教育委員会指定

- 絆の作り手育成プログラム研究校 ……宇治小学校
- 地域・企業等と連携したPISA型読解力育成事業 ……広野中学校
- 食に関する指導充実事業実践中心校 ……北榎島小学校、三室戸小学校
- 幼児教育と小学校教育の接続期カリキュラムコンサルテーション事業 ……南部小学校
- 体育指導力向上指定校 ……西小倉小学校、北宇治中学校

京都府山城教育局指定

- 山城地方学力向上トライアル校 ……大開小学校、木幡小学校

宇治市教育委員会指定

- 多様な学びの場創造事業 ……榎島小学校、北榎島小学校、榎島中学校

京都府小学校教育研究会

- 体育部研究協力校(3年次研究大会) ……西小倉小学校

京都府中学校教育研究会

- 保健体育科研究大会授業公開校 ……北宇治中学校

令和5年度 宇治市教育予算のあらまし

令和5年度 教育予算(当初分)72億2,613万円

宇治市教育委員会では、「宇治市第6次総合計画」に基づき、「第2次宇治市教育振興基本計画」の2年目として、昨年に引き続き、着実に政策や事業を進めていきます。以下に、本年度の主な事業を紹介します。

★新規事業 ◎拡充事業 ◆継続事業

1 小中一貫教育を柱とした「自律的かつ協働的な学びの創造」のために

- ◆小中一貫教育推進費 ……5,030万円
小中一貫教育体制運営教員(ラーニングコーディネーター)を全中学校ブロックに配置し、小中一貫教育を推進
- ◆いきいき学級支援員設置費 ……2,100万円
特別な教育的支援を要する児童生徒への支援体制の充実
- ◆図書館教育充実事業費…2,814万円
中学校ブロックごとに各1名の学校司書を配置
- ★部活動指導員設置費…1,318万円
休日の部活動における生徒の指導など部活動指導員の配置
- ★「宇治学」デジタル化事業費 ……102万円
小学校第6学年および中学校第1学年(7学年)「宇治学」副読本をデジタル教材として作成
- ★アイススケートチャレンジ事業費 ……300万円
「木下アカデミー京都アイスアリーナ」にてスケート体験授業を宇治市立小学校4年生に実施
- ★学びのステップアップ事業費 ……213万円
小学校2・3年生の後期に市独自の学力調査を実施
- ◆小学校・中学校「総合的な学習の時間」推進費 ……692万円
- ◆英語指導助手設置費 ……4,124万円
英語指導助手(AET)を小中学校及び幼稚園に派遣
- ◆小学校・中学校就学援助費、小学校・中学校特別支援教育費 ……1億1,664万円
学用品等の就学援助費、特別支援教育に必要な教材や就学奨励費



2 「多様性を尊重し包容力ある人間性の涵養」のために

- ◆学校支援チーム活動費 ……844万円
学校現場の解決困難な事象について、学校支援チームを編成し、専門的な助言や関係機関との連携により、早期解決に向けた支援を実施
- ◆生徒指導緊急配置支援員派遣事業費 ……251万円
- ★多様な学びの場創造事業費 ……800万円
インクルーシブ教育システムの構築に向け、榎島小、北榎島小、榎島中をモデル校に指定し、研究を実施
- ★安心子育て支援事業費 ……385万円
医療的ケア児を受け入れる仕組みを構築し、教育と福祉が連携した医療的ケア児に対する支援を実施
- ◆不登校児童生徒支援事業費 ……638万円
福祉的支援も含めた総合的な不登校児童生徒の支援を実施
- ◆不登校児童生徒自立支援教室運営費 ……592万円
- ◆心と学びのパートナー派遣事業費…169万円
中学校を対象に臨床心理学専攻の大学院生等を派遣
- ◆家庭教育アドバイザー事業費 ……171万円
教育と福祉が連携し、就学前から就学後にわたって切れ目のない支援を実施するための研究

3 「しなやかで健やかな身体(からだ)の育成」のために

- ◆給食・調理環境充実費 ……2億5,610万円
給食調理民間委託及び食器・調理備品の補充・更新
- ★給食センター整備事業費 ……5億6,996万円
給食センター整備に係る用地取得費及び設計から施工までに要する債務負担行為の設定

4 「学びを促す学校内外の環境整備」のために

- ◎(仮)西小倉地域小中一貫校整備事業費 ……13億1,653万円
(仮)西小倉地域小中一貫校の校舎建築工事費等
- ★小学校・中学校長寿命化事業費 ……4億5,781万円
「学校施設長寿命化計画」に沿った改修工事等を実施
- ◎小学校・中学校・幼稚園維持整備事業費 ……2億7,096万円
良好な教育環境の確保と施設の維持・保全を図り安全・衛生確保や老朽化等に対応
- ◎小学校・中学校照明LED化事業費 ……1億1,310万円
- ◎小学校・中学校ICT教育充実事業費 ……2億2,878万円
タブレット端末利活用推進のための環境整備を実施
- ★小学校・中学校ICT授業アドバイザー設置費 ……1,901万円
ICT授業アドバイザーが学校を訪問し、ICTを活用した授業改善を支援
- ◆緊急安全対策事業費…1,795万円
小学校・幼稚園における児童等の安全確保を図るための学校運営支援員の配置等



5 「家庭・学校・地域の連携・協働促進」のために

- ◆地域学校協働活動推進費 ……1,763万円
学校運営協議会と地域学校協働活動を一体的に推進する取組を実施
- ◆幼稚園預かり保育事業費 ……319万円
公立幼稚園において預かり保育を試行実施
- ◆放課後子ども教室支援事業費 ……282万円
平日の放課後、土曜日の午前中に子どもの居場所を確保し、遊びや学びの場を提供する活動に対して支援する経費
- ◆少年補導活動費 ……520万円
- ◆青少年健全育成推進費 ……222万円

6 「市民が学び合う生涯学習社会の進展」

7 「歴史と文化の継承・活用」のために

- ◆源氏物語ミュージアム・生涯学習センター講座等開催費 ……271万円
- ◆源氏物語ミュージアム・歴史資料館企画展示費 ……192万円
- ◆図書館資料提供費 ……1,789万円
図書等の購入に要する経費
- ◆電子図書館サービス事業費 ……166万円
図書館に来館せずにパソコンやスマートフォン等から利用できる電子図書館サービスの運用に要する経費
- ◆視覚障害者専用電子図書館事業費 ……14万円

宇治市の小中一貫教育について

子どもと子ども、子どもと教職員、教職員と教職員、地域と学校をつなぎ、学びと育ちの絆が深まる宇治市の小中一貫教育「つながりとふれ合いの中で愛情や信頼を感じ、たくましく、仲間と高め合う宇治市の子ども」の育成

宇治市では、平成24年度から全ての小学校と中学校において、以下のねらいをもって、小中一貫教育を実施しています。

宇治市の小中一貫教育のねらい

- (1) 9年間を見通した系統的・継続的な学習指導により、児童生徒の学習意欲の向上や学習習慣の確立を図り、確かな学力を育成する。
- (2) 9年間を見通した系統的・継続的な生徒指導により、児童生徒の個性の伸長と社会的な資質や能力・態度を育成する。
- (3) 9年間を見通し、地域に根ざした特色ある教育活動により、自分の住む地域に自信と誇りを持ち地域に貢献する人材を育成する。
- (4) 児童生徒間の多様な交流活動や地域との交流により、豊かな人間性や社会性を育成する。
- (5) 教職員が児童生徒一人ひとりへの理解を深めることにより、個に応じた指導や支援を充実する。
- (6) 小学校と中学校の教職員が相互に交流を深めることにより、教職員の資質と指導力の向上を図る。
- (7) 中学校区を単位とした地域・保護者同士の連携を深めることにより、学校・家庭・地域が一体となった教育環境づくりを推進する。

令和4年度小中一貫教育についてのアンケート結果(概要)

本アンケートにご協力いただきました児童生徒や保護者の皆様方に感謝とお礼を申し上げます。このアンケート結果の詳細(報告書)は、宇治市ホームページ(小中一貫教育アンケート)にて公開します。

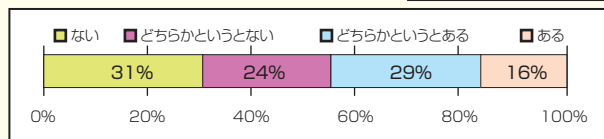


平成31年度まで行っていたアンケートとは少し内容を変更し、令和4年度にオンラインでのアンケートを実施しました。

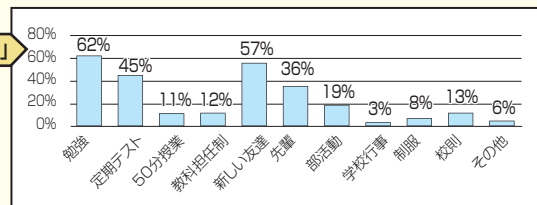
「小・中学校での学習や生活」について

小学6年生

中学校生活への不安はありますか。【ある】「どちらかというところある」

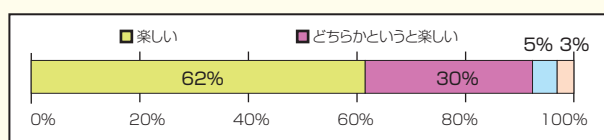


不安の理由は何ですか。(3つまで、1つでも2つでもよい)

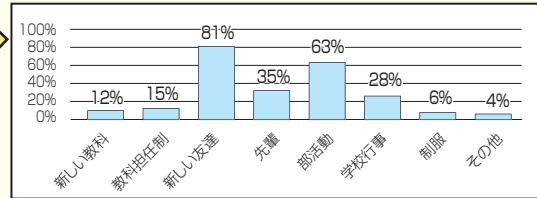


中学1年生

中学校生活は楽しいですか。【楽しい】「どちらかというところ楽しい」



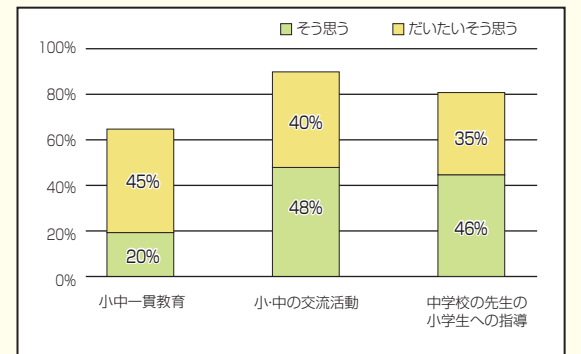
楽しい理由は何ですか。(3つまで、1つでも2つでもよい)



小中一貫教育について

保護者アンケートより

小中一貫教育についての【肯定的回答の割合】の項目別比較



小中一貫教育については、6割をこえる「肯定的回答」があり、「小・中学生の交流活動」「中学校の先生による小学生への指導」については、「肯定的回答」が8割をこえています。今後も、情報発信の充実を進め、小中一貫教育への理解が図れるよう努めていきます。

小学6年生では、約半数の児童が、「中学校生活への不安」があると回答し、その理由は、「新しい友達」「勉強」「定期テスト」「先輩」が多くなっています。

中学1年生では、9割以上の生徒が「中学校生活が楽しい」と回答しており、その理由として、「新しい友達」「部活動」「先輩」「学校行事」となっています。中学1年生でも、小学6年生と同じように、中学校生活への不安があったと回答していましたが、様々な小中一貫教育の取組が不安の解消に効果的であったことがうかがわれます。

第1回

子どもの時間、大人の時間

シリーズコラム 人との違い、人間関係

自分が子どもだったころの1日を覚えていますか？何をして過ごしていましたか？小学生だった私にとって、1日はとても長いものでした。特に休みの日の1日は、沢山の事をした後でもまだ夕方まで、暇を持て余して「つまらない」「つまらない」と騒いで、周りの大人を困らせていました。そんな私が大人になった今、1日をとても短く感じています。1か月ですら、あっという間に過ぎてしまいます。時計が回る時間は同じ長さで、同じ時間ははずなのに不思議です。このように、大人になるにつれて時間が経つのが早くなったと実感されている方も多いのではないのでしょうか。

実はこの感覚、フランスのジャンヌさんという人が19世紀に『ジャンヌの法則』として紹介しています。ジャンヌさんは、人間の体感時間はそれまで生きてきた年齢に反比例すると言っています。例えば、40歳の大人にとっての1年間は、それまで生きてきた40年間のうちの1年なので1/40、人生の中の2・5%です。それに対して、15歳の子どもの1年間は、15年間のうちの1年なので1/15、人生の中の6%以上になります。つまり、同じ「1年」「1時間」であっても、15歳の体感時間は、大人の約2・5倍の長さになるのです。もっと小さい5歳の子であれば、40歳の大人と比べると体感時間は、約8倍にもなるのです。具体的に想像してみます。40歳の大人として、子どもを30分待たせた時に、15歳の子どもの時間感覚では、1時間15分待っていることになり、5歳の子どもの時間感覚では、4時間待っていることになります。かなりの違いがありますよね。

そう考えると、大人が「ちょっと待ってね」と言った時、子どもにとっては長い時間待たされていると感じてもおかしくありません。明日の準備をする際にも、大人の時間感覚であれば明日はすぐに来るので、「早く準備をしなくて大丈夫なのだろうか？」と焦りますが、子どもにとっての明日は遠い先に来るものなのです。「まだまだ時間はあるし大丈夫！」と感じやすいわけです。

このように、子どもの時間感覚と大人の時間感覚はだいぶ違いますが、年齢が小さければ小さいほど、この感覚に差があるということなのです。同じように流れている時間感覚にも違いがあることを想像しながら子どもと付き合ってみると、子どもの言うことや行動に納得しやすくなったり、大人は焦るのに子どもが焦らないギャップでこちらがイライラしなくてもいいですし、新しい発見があるかもしれませんね。

(なお、個人が感じる時間の長さに影響を与える要因は、今回ご紹介した「生きてきた年齢」以外にも、「身体的代謝」「感情の状態」「時間の経過に注意が向いているかどうか」など、複数あると考えられています。)

スクールカウンセラー A

『宇治市の教育だより』は、宇治市のホームページから閲覧することができます。

宇治市ホームページ <https://www.city.uji.kyoto.jp/> キーワード検索 宇治市の教育だより 検索



My school pride ~私たちの学校自慢~



菟道小学校は創立151年目を迎えました

菟道小学校は、明治6年2月10日に宇治妙楽の地で開校しました。明治11年8月に、当時の京都府知事 まきむらまさなお 榎村正直氏により「菟道校」と命名され、自筆の扁額が贈られました。

宇治神社の祭神「菟道稚郎子」が学問を好むとの伝説より、ここに集う児童が学問をしっかりと身につけてほしいとの願いを込めて命名されたと伝えられています。

令和5年度、全校児童245名は、毎日元気いっぱい勉強に励んでいます。

3年生でのお茶摘み体験、5年生での臨海学習や、宇治橋通りわんさかフェスタでの出店、6年生では鵜飼見学、課外活動での鼓隊クラブなど、従来より地域・保護者の皆様のご協力を得て、本校ならではの特色ある教育が充実しています。



記念事業

昨年度、創立150周年を迎え、児童全員が参加し、普段はできないことを体験する1年になるよう、歴代育友会長や本部役員の皆様で実行委員会を発足し様々な事業を行いました。運動場でのキャンプファイヤー・花火大会、校舎全体を使っての秋祭り、平等院の夜間拝観、児童会が行ったハッピーイベントでのバルーンリリースや「希望のにじ」の制作、100周年時の在校生からも寄稿いただいた記念誌発行。日常を過ごしている「学校」でのイベントや、校区にある世界遺産、地域・保護者の方々の温かい思いに触れ、子どもたちは学校や地元への思いを強くしました。



記念式典

令和5年2月11日、多くのご来賓に参加していただき、150周年記念式典を盛大に開催しました。当日は、5・6年生が会場で参加し、1~4年生は教室で、保護者の皆様はオンラインで参加していただきました。また、1・6年生は宇治や菟道小学校の歴史について学んだことを会場で発表しました。

「この150周年での経験を生かして、将来、ぼくが地域の一員となって、菟道小学校のために何かできるかもしれません。そして、200周年には、今年にも負けないくらいすごいことをしてあげたいと思います。」と代表児童がよろこびの言葉の中で決意表明をしました。

様々なイベントや行事等、貴重な経験を記憶に刻み、「菟道校」の未来を担っていく思いが在校生にもしっかりと受け継がれた150周年の記念の年となりました。

令和2年度に宇治市教育委員会の研究指定を受け、先行的にコミュニティ・スクールとしての取組を進めています。それは、今日に至るまでの「菟道校」の在り方、地域・保護者の皆様の力を合わせて子どもたちの成長を支えてきた、その形と理念を同じくするものです。

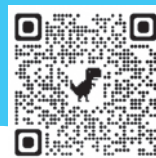
これからも、地域・保護者・学校の3者で協働しながら、子どもたちがいきいきと学び、育つ学校づくりを進めていきます。



夏休み子ども★わくわくフェア

「遊び・学び・手作り」の楽しさを体験しよう!

令和5年 会場 宇治市生涯学習センター
7月29日(土) 10:00~15:00
7月30日(日)
詳細はホームページをチェック



小学生を対象にした夏休みのイベントを今年も開催します!
手作りのコーナー、からだを動かすコーナー、今まで知らなかったことを学ぶコーナーなどが、宇治で活動している市民団体によって出展されます。昨年より、さらに出展コーナーが増えて楽しさもパワーアップ♪ぜひ、遊びにきてください!

[お問い合わせ先] 宇治市生涯学習センター 電話 0774-39-9500



※写真は昨年の様子です。



「ふれあい教育相談」

対象 小・中学生の皆さん 保護者の皆さん
電話でもメールでもお気軽にご相談ください

